

【エピソードの要約】

「turn over」はアメリカンフットボール用語で「攻守の入れ替え」という意味があり英語では「ひっくり返す」という意味があります。このエピソードは、楽曲を提供したガールズユニットが信じ想った結果、チームが大逆転を果たしたお話です

誰かの事を想って信じて願えば、必ずその想いは形となって届く
私達は、そう信じています！

【エピソードの内容】

TryCour というガールズユニットでリーダーをしています yuna です
皆さんは誰かを応援した事はありますか？

私達は、茨城県鉾田市で活動を行っているアメリカンフットボール X2 リーグ「茨城セイバーズ」のチームソングを担当し、X1 リーグを目指して日々、奮闘している選手の皆様・サポートして下さる皆様に応援しています

そんな私達が実際に体験した事をお話させて下さい

私達が「茨城セイバーズ」というチーム、アメフトと関わる事になったのは丁度、1年前…
鉾田で開催されたイベントに出演した時の事です

その時にご紹介を頂いたのが茨城セイバーズ代表の近藤様

約1時間弱、チームの成り立ちや想い、今後の夢を伺い感銘と共感を覚えチームのイメージソングを作る事になりました

想いを歌詞に変えメロディーを作る事はできるのですが、どう表現して伝えれば伝わるのか？曲ができた後も私達はずっと悩んでいました…

私達は、テレビに出たりオリコンに掲載される様なアーティストではありません

活動は開始したものの、歌もダンスも上手い方が多い中で、本当にファンの皆様が支持して下さるのか？このまま活動を続けて多くの方に評価して頂けるのか？

茨城セイバーズ様の曲の悩みと並行して活動自体の悩みもありました

そんな悩みもあり、曲が完成した後も歌唱部分はアーティストの方にゲストとして出演して頂き、試合のハーフタイムで披露させて頂いていました

それは、私達の中にどこかこのレベルの歌やダンスを見せても盛り上がらない…という気持ちがあったのだと思います

ある日、再び近藤代表と話す機会があり言われた言葉

「なんでTryCourさんが歌わないの？上手いとか下手とかじゃなく是非、歌って下さい」

嬉しい言葉を頂きながらも、私達の中では恥ずかしさやパフォーマンスの不安から自分達で歌唱を行うという事ができずにいました

そんな中、神奈川県川崎市にある富士通スタジアム川崎で迎えたアウェイゲーム
メンバーと共に応援する機会をもらい観客席から応援をする事に…

試合は一進一退のまま進んでいきました

残り時間も少なくなっていく中、私はスマホで「turn over」の曲をかけ口ずさみながら逆転を祈りました

その時…

茨城セイバーズが逆転のタッチダウンを決めたのです

目を瞑って祈っていたので私はタッチダウンの瞬間は見えていません
大きな歓声と共に目を開けるとタッチダウンを決めた#17の選手のガッツポーズが飛び込んできました

そのまま、試合は終了し見事逆転勝利

こんな夢のような事があるのかと思いましたが、近藤代表の言った言葉を思い出しました

「上手いとか下手とかじゃなく是非、歌って下さい」

この言葉…

相手に届けたいと真剣に思えば、形に関係なく相手に届くんだ
私の中で今まで恥ずかしいと思っていた事や自信のなかった自分、上手くやろうと思ってテクニックだけに集中していた自分を思い返しました

それ以降、私達は自分の声で歌いパフォーマンスを行う様になりました

歌もダンスも正直まだまだ未熟です
そんな私達がステージで一生懸命の姿を見てもらう事で逆に応援して下さる方々が増え、様々なお仕事を頂ける様になりました

もちろん、この試合での事は偶然なのかもしれませんが
しかしながら、私が無意識の中で行った行動や想いはフィールドにいる選手の方々に届いたと信じています

そして、その体験が私の自信となり活動の支えとなっています

「turn over」あなたの想いは必ず相手に伝わります

【メッセージ】

私は誰かを応援する事で自分自身も変わる事ができました

応援とは誰かに対して届けるだけのものではなく自分自身にも届くものだと思います

誰かを応援したい！そう思った時、自分自身も変わる事ができる…

それが「応援」の様な気がします

是非、誰かを想い応援してみてください！